

あおい通信 第116号

年頭雑感

運営法人社長
片山 章

あけまして
おめでとーございませう

ひつじ年の始まりです。干支で使われる「未」は、『漢書 律曆志』では、味(まいい)の「味」と記され、

・食物が茂って「暗い」
・果実が熟した状態「味」を指す

とのこと。後に、覚えやすくする為に動物のヒツジ「羊」が使われるようになったようです。

羊は、「祥」に通じ中国の吉祥動物の一つ。群れをなすところから家族の安泰を表わし、いつま

世評・時評

昨年暮れから政治が大きく動いている。我々庶民の生活に直結する体制の変更はとも気に掛かる事態である。自民党大勝の要因はなにか。安倍首相が野党の虚をつき、衆院解散に踏み切った戦術的巧みさもある。

飲み屋の客が店員をからかう：「肴(さかな)は何ができる？」「出来ませうものは、けんちゃん、おしたし、鱈昆布、鮎鱈(あなご)のようなもの」「その『ようなもの』を一人前くんな」落語の『居酒屋』の一場面である。

でも平和に暮らすことを意味します。また、干支の特徴としては穏やかで人情に厚いとされ、財テクの才能があるとも言われています。

さて、そんな「ひつじ年」の一年はどうなるのでしょうか？

占い師めいたことは言えませんが、次の様な事態は想定されます。

・絶対安定多数の安倍政権成立により、「長いものには巻かれる」ムードがますます蔓延する。

・早々に成立した補正予算のおかげもあり、日本の株式市場は今しばらく好調に推移する。

・消費税増税のせいでアベノミクスの効果はなかなか実現しない。

・介護保険法改正による

り、高齢者福祉関係の行政、事業者は当面の間混乱状況を迎える。

最後の問題は皆さんにも大きく影響しますので情報収集に努めましょう。

練馬区では、1月5日から区民用の小冊子を配布しています。

今、世界は資本主義社会の終焉に向けて事態が進行しているといわれます。

第2次大戦以後、有色人種としては異例の資本主義優等生国家となつたわが日本も例外ではありませぬ。というより先頭を切つて模索している状況です。これからは、いつ何時何が起きてもお不思議ではありません。

「羊の皮を被つたオオカミ」になって、これを乗り越えましょう。

有難うございました。本年も「葵友の会」はより一層楽しく、美しく、嬉しく、美味しく、グルメや麻雀、カラオケ、日帰り旅行、あるいは一泊旅行等を計画してまいります。是非参加してみても如何でしょうか。どうも身体が心配で、と言う方は葵の職員か友の会役員に相談をしてみてください。お待ちしております。

近々の行事情報は葵の入り口、通路右側掲示板にてお知らせ致しますので宜しくお願いします。これからは益々寒さが厳しくなりますので、充分にご自愛ください。

友の会会長 小林辰男

謹んで新春のお慶びを申しあげます。昨年中は各種行事に多数ご賛同、ご参加いただき

新年のことば

飲み屋の客が店員をからかう：「肴(さかな)は何ができる？」「出来ませうものは、けんちゃん、おしたし、鱈昆布、鮎鱈(あなご)のようなもの」「その『ようなもの』を一人前くんな」落語の『居酒屋』の一場面である。

酔狂な客ではあるまいし「ようなもの」を山盛りの大皿で出されてもうれしくない。論戦のようなものがあり、政策のようなものが語られ、選挙のようなものが終わった。

その罪は、「晋三亭」に早々と先客万来を許した「海江田軒」をはじめとする商売敵のふがいなさにもあろう。今後の晋三亭：勘違いは禁物である。

K・ドラゴン

日本の世界遺産めぐり

その十 日光の社寺(文化遺産)③



*輪王寺

日光市にある天台宗の門跡寺院である。創建は奈良時代にさかのぼり、近世には徳川家の庇護を受けて繁栄を極めた。明治初年の神仏分離令よつて寺院と神社が分離されてからは、東照宮、二荒山神社とあわせて「二社一寺」と称されているが、近世ではこれらを総称して「日光山」と呼んでいた。輪王寺は日光山中にある寺院群の総称であり、堂塔は広範囲に散在している。国宝、重要文化財など多数の文化財を保有し、徳川家光を祀つた大猷院霊廟や本堂である三仏堂などの古建築も多い。境内は東照宮、二荒山神社の境内と共に、「日光山内」として国の史跡に指定され「日光の社寺」として世界遺産に登録されている。

*日光二荒山神社
日光二荒山神社(にっこうふたたらさんじんじや)は、正式名称「二荒山神社」であるが、宇都宮市の二荒山神社(宇都宮二荒山神社)との区別のために地名を付して「日光二荒山神社」と呼ばれる。古くは「日光三社権現」と称された。

境内は、日光の社寺最奥に鎮座する本社、中禅寺湖畔の中宮祠、男体山山頂の奥宮の三宮からなる。その神域には華厳滝やいろは坂も含まれる。下野国の僧・勝道上人(七三五年-八一七年)が、七六七年、二荒山(男体山)の神を祭る祠を建てたことに始まるとされる。実際には太郎山神社周辺で古代の祭祀の痕跡を示す遺跡が見つかつており、相当古くから聖地として信仰対象であったことがわかっている。

ある大猷院霊廟本殿、相の間、拝殿は一六五三(承応二)年に造営されたものの。建物は東照宮の方向をむいており、ここにも家康公を慕う心が表れている。家光公の遺言により東照宮を取り巻く環境や雰囲気を保つために緩衝地帯が設けられ、周囲の各々の建造物も資産として登録されている。

日光 おわり

12月度行事の結果
18日(木) 長次郎。「回転寿司に行つてみよう！」を実施。13名の参加でした。

新年1月度行事の予定
初詣日帰り旅行
14日(水) 秩父神社。第10代崇神天皇のころ創建されたといわれる「知知父神社」にお参りし、長生館で昼食。40名の限定です。

カラオケ会
23日(金)。新春歌を始めも、バンバンで。役員会
25日(日)です。(事務局長)

◆編集委員会より
「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島

大猷院 315 基の灯籠



日光二荒山神社

*大猷院霊廟(だいゆういん) 三代將軍家光公の廟所(墓所)。家康公を心より尊敬していた家光公は「自分の死後も東照大権現に仕える」との遺言を残した。現在、国宝となつて

いる大猷院霊廟本殿、相の間、拝殿は一六五三(承応二)年に造営されたものの。建物は東照宮の方向をむいており、ここにも家康公を慕う心が表れている。家光公の遺言により東照宮を取り巻く環境や雰囲気を保つために緩衝地帯が設けられ、周囲の各々の建造物も資産として登録されている。

日光 おわり

葵・十周年記念会
感想文集
(順不同・敬称略)

足達眞喜雄

リハビリテーションセンターイサービス葵の開設十周年お目出度うございました。パーティーもゆつたりとした大広間で、自由に同じテーブルの人達とお話しも出来た上に他のテーブルの人達ともお話し出来て、堅苦しさの全く無い楽しい会でした。

増田義雄

ディサービス葵十周年誠におめでとうございます。心からお祝を申し上げます。秋たけなわ、紅葉の季節H・カデンツァ光ヶ丘の記念パーティーにお招き頂き、大変お世話様でした。十一月二十二日は「いい夫婦の日」決して忘れません。これからもよろしく。

榎山桂子

葵の十周年おめでとうございます。私は九年お世話になり当初は失語症で言葉がありませんでしたが、お陰様でだんだん言葉が出るようになりました。先日は皆さんとお会いし一日を楽しく過ごることができました。これからもよろしくお願致します。

斉藤重美

十周年おめでとうございます。葵に来てからもう九年になりますが、いろいろ教えて頂いて体が動くようになりました。また皆さんと一緒に楽し

いことが一杯ありました。十一月二十二日のお祝いの会も、肩のこらない楽しい会でした。



インコ 早野 浩

一昨年二月の粉雪の舞う日、我が家にインコの番いがやってきた。インコは言葉を話すと聞いていたので、「おはよう」「こんにちは」「おはよう」「こんには」「等練り返し話しかけてみたが、未だ覚える気はなさそうである。(しかし、常に「おはよう」「おはよう」と耳にするとうるさいだろうと思ったりもする。)

我が家に来た当初は、まだ生後1か月で2羽が寄り添って落ち着かない様子であったが、しばらくすると我が物顔で室内を自由気ままに飛びまわり、器物をついばんで傷



つけ、あちらこちらに糞をする。この糞、時間が経つと接着剤のごとく取れにくくて困る。餌がなくなると思えずりがうるさく、餌箱をカタカタ鳴らし催促する。困ったインコ達である。

台所にいれば、肩に乗って様子を窺い、「焼き鳥にするぞ」と脅しても平気。新聞を読んでいれば頭、耳、首筋をついばんで邪魔をする。しかし、それも悪い気はしない。よちよち歩きで妻の後を追う姿を眺めていると、愛くるしく、気持ちや和らいでくる。小さな生き物ではあるが、我が家の一員である。



橋本廣子

葵の十周年記念の会にお招き頂き有難うございました。

葵周年記念パーティー
管理者 飯島一子

秋も深まった平成二十六年十一月二十二日、晴天のもと、光が丘のH・カデンツァにおいて、リハビリテーションディサービス葵の創立十周年記念パーティーが、70名余りの出席を得て行われました。

冒頭、片山社長が葵を手探り状態で始めてから現在に至るまでの経緯を語り、関係者のご協力に感謝してパーティーは始まりました。

ご来賓の方々のご挨拶

富岡昭一郎

葵十周年記念パーティーにご招待頂き、ありがとうございます。あの日、会場に入った瞬間の光景に感動しました。そして職員さんの気遣い、杖使用の私に、ごちそうを運んで下さり、食べやすいように一口大に切って下さり、楽しい一日でした。

その後、十年と五年勤続の職員が表彰されました。その後ビュッフェに移り、くつろいだ頃、ドラマイバーの楠さん親子の力強い太鼓演奏、全員参加のジャンケン大会、はらドキドキゲーム等で盛り上りました。(何と職員ばかりが商品を獲得してしまいました!)後半、この「十年の歩み」のスライドを上映。懐かしい思い出が走馬灯のように駆け巡りました。

最後にサプライズで、葵に開所時から通所されている絹田治夫氏が、利用者代表として社長と

あおい俳壇・歌壇

黄金の 耀きつづく 銀杏並木
とき折りきらり 舞い散る枯葉
大会の 詩吟吟(ぎん)じ終へ
今年最後の 大役果たす
河西千恵子

身に染みて 友のなぐさめ ありがたく
痛み忘れて 笑みを作りぬ
麻生伊登子

あおい通信編集長
大塚芳男

謹賀新年
明けましておめでとう御座います
皆様にはつつがなく越年され、新たな志を携え、新春を迎えられた事と存じます。

中村事務長に感謝状を贈り、(これには社長も思わずホロリ・)。そして事務長からの挨拶、閉会の辞で終わりました。短い時間でしたが、ご出席の皆様には楽しんで頂けたのではないのでしょうか。(ご出席頂けなかった皆様、申し訳ありませんでした)

最後になりましたが、日頃より葵に通所して頂いている利用者の皆様、有難うございます。この十周年を一つの節目として、更に「葵らしさ」を探究していこうと思っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

葵通信、本年も変わらぬご支援、ご鞭撻、ご愛読の程宜しくお願い申し上げます。

昨年十一月にはディサービス葵・創立十周年を迎えられ記念式典が開催されました。誠に有難うございました。心よりお祝いを申し上げます。

「十年」と、言葉では一言で簡単に云えますが長い道程であったでしょう。艱難辛苦を乗り越え、社長始め全てのクルーが団結、御苦労は筆舌には現せない思いを感じます。

十年、人間の年齢で例えると丁度小学校四年生ぐらいの頃、そろそろ人格形成の第一歩を踏み出そうとして行く時期ではないでしょうか。

今後真価の問われる正念場もくるであろうと思われまます。「継続は力なり」と云う格言の如く、あおい通信も共存共栄して、今年も頑張つて続けようとして士気を新たにしています。

葵は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります